平成31年第3回網走市教育委員会会議録

平成31年2月26日（火）午後1時30分 西庁舎2階会議室に招集した。

1. 出席者は次のとおりである。

教育委員 富永 雄一 ・ 杉本 匡規 ・ 中山 真弓 ・ 益村 公人
教育長 三島 正昭

2. 会議の議案は、次のとおり。

議案第1号 平成30年度補正予算要求(債務負担行為の追加)について

【非公開】【原案可決】

議案第2号 網走市社会教育長期計画について【公開】【原案可決】

議案第3号 網走市立学校に係る部活動の方針について【公開】【原案可決】

3. 説明のため出席した者は、次のとおり。

学校教育部長	田 口 桂
社会教育部長	猪 股 淳 一
学校教育部次長	大 西 篤
社会教育部次長	岩 本 博 隆
学校教育課長	永 倉 一 之
社会教育課長	吉 村 学
スポーツ課長	鈴 木 聡
図書館長	児 玉 卓 巳
博物館長	米 村 衛
美術館長	古道谷 朝 生

4. 会議の書記は、次のとおり。

学校教育課庶務係長 松 原 幸 信

5. 会議の署名委員は、次のとおり。

本日出席委員全員及び教育長

三島教育長

ただ今から平成31年第3回網走市教育委員会を開会いたします。
本日の出席委員は教育委員全員と教育長が出席しております。

本日の会議録署名委員の指名ですが、出席をされている委員全員と教育長といたします。

次に、平成30年第12回から平成31年第2回までの委員会会議録につきまして、記載した事項に関して何かご意見等がございましたら、ご発言をお願いします。

特になければ、会議録は調製のとおり承認することといたします。

本日は、議案3件でございますが、審議に入る前に、まず、教育委員会会議規則第12条のただし書きに定められております、非公開案件とすべき事項について、お諮りをいたします。本日は、「議会へ提案前である議案に係る事項」に該当すると思われまます議案がございます。議案第1号「平成30年度補正予算要求について」でございますが、この案件について、非公開とすることでご異議ございませんか。

(「ありません」との発言)

異議なしと認めまして、議案第1号については、非公開案件と決定させていただきます。

次に、教育行政について、事務報告をお願いいたします。なお、説明・答弁につきましては、着席のままで結構です。

田口学校教育部長
猪股社会教育部長

1月 9日から2月26日までの学校教育部教育行政報告
12月25日から2月22日までの社会教育部教育行政報告

三島教育長

ただ今、報告のありました教育行政について、ご質問等ございませんか。

(「ありません」との発言)

特になければ、以上で教育行政についての事務報告を終わらせていただきます。

それでは、**非公開案件**・議案第1号「平成30年度補正予算要求(債務負担行為の追加)について」を上程いたしますので、事務局の説明をお願いします。

(非公開案件)

三島教育長

それでは、お諮りいたします。議案第1号について、原案のとおり決定することに、ご異議ございませんか。

(「ありません」との発言)

異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

次に議案第2号「網走市社会教育長期計画について」を上程いたしますので、事務局の説明をお願いします。

吉村社会教育課長

ただ今、ご上程いただきました議案第2号 網走市社会教育長期計画についてご説明申し上げます。資料は議案第2号別紙資料と別冊の社会教育長期計画(案)となります。

はじめに、議案第2号別紙資料の1ページをご覧ください。次期社会教育長期計画につきましては、1月29日の平成31年第1回教育委員会で素案のご説明をさせていただきましたが、2月1日から22日までの期間、パブリックコメント(市民意見募集)を実施致しまして、その結果1名から意見が寄せられました。意見の内容と教育委員会の考え方を記載しております。一つ目の内容として、「協働のまちづくりのための人づくりに社会教育の力が必要であり、その点を市の他部署などへ一層周知と理解をしてもらうことが大切」とのご意見であり、教育委員会としては、既存の事業については他部署の理解のもと取り組んでおり、今後はさらに長期計画をもととした社会教育事業への理解を図ることとしております。また、ふたつ目の内容として、「社会教育での取り組みを社会教育委員や施設審議会委員や各協議会委員が中心になって情報発信や働きかけを要望」するもので、教育委員会としては、社会教育事業の取組については一層理解と周知に努めていくこととしております。今回寄せられた意見につきましては、長期計画の効果的な推進に向けてのご意見と判断いたしまして、今後の取り組みにおいて参考意見とさせていただくこととして、計画案そのものに変更は及ばないものと判断しております。次に、資料の2ページをご覧ください。こちらは、最終的に修正、追加する箇所について一覧としております。こちらは、別冊「網走市社会教育長期計画最終案」と併せて説明してまいります。はじめに、No1として、10年前からの振り返りと今回の計画策定に向けて教育長名で巻頭言を掲載いたします。No2については、第1部基本構想の1ページ目「2計画の構成と期間」「この計画は…」の最後、「2019年度(平成31年度)から2028年度(平成40年度)となっていた部分の「平成40年度」を削除いたしました。No3については、8ページ目一番下「2将来像」について、ふりがなを追加しました。No4について、27ページ目

「長期計画策定経過」について、一番下、本日の会議について日付を追加いたしました。N05 から 9 までは資料編の統計結果に関してですが、見やすくグラフの色、文字の大きさ、男女・年齢別クロス集計の追加と併せて、それにより文言を記載のとおり修正しております。N010 については、奥付を追加しております。以上、前回からの変更点をご説明いたしました。次期社会教育長期計画の最終案について、ご審議よろしくお願ひ申し上げます。

三島教育長 　　ただ今、説明ありました件につきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思います。

益村委員 　　パブコメの回答については、どのような対応をとるものですか。

吉村社会教育課長 　　パブコメ依頼の段階で、個別の対応は控えさせていただき、旨で募集をかけておりますが、教育委員会の考え方も含め、ホームページ等で今後、方針等も含めすべての方に周知する予定です。

杉本委員 　　高校生のワークショップは今回から初めてですか。

吉村社会教育課長 　　今回の計画策定に併せ、学校にも協力いただき、初めて行いました。

杉本委員 　　今回の実施結果は、資料編で付けていただけてますが、本編の計画の中で高校生の意見が、具体的に盛り込まれている部分は、ありますか。

吉村社会教育課長 　　今回につきましては、10年後の夢という形で話を聞かせていただき、その中には、計画のキーワードのひとつとしての網走の魅力再発見といったものもありました。今回は、網走について再確認し情報共有をするといった結果となりました。

杉本委員 　　そうしますと、計画に反映できる意見をといったものではなく、高校生と社会教育とはどういうものかというところを共有したといったものですね。

吉村社会教育課長 　　28ページの3番が、協議結果ですが、抽象的なものもありましたので、今後各社会教育分野で3年単位の中期的な重点目標を定める上で、これを踏まえ取組を考えたいと思っております。

杉本委員 　　非常にいいことと思いますが、今後の参考として一言。子どもたちにこういった活動に参加し、考えてもらう事は大切ですが、さらに大切なのは、自分たちが行ったことが、結果として見えることが大切だと思います。私たちの意見が、市政に反映しているとわかれば、社会参画意識が芽生え、社会

教育においても大切になってくると思います。よって、今後も何かしらの形で皆さん方の意見がこんな形になりましたよといった作り方をしているだけでいただければうれしいです。

吉村社会教育課長 まず、まちづくりを考える体制と人づくりをするという観点から行ってまいります。その中で高校生の立ち位置を考え、意見を反映できる仕組みとして、杉本委員の言われた事が反映できればと思っております。

三島教育長 他にございませんか。
それでは、お諮りいたします。議案第2号について、原案のとおり決定することに、ご異議ございませんか。

(「ありません」との発言)

異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

次に議案第3号「網走市立学校に係る部活動の方針について」を上程いたしますので、事務局の説明をお願いします。

大西学校教育課次長 ただ今、ご上程いただきました議案第3号「網走市立学校に係る部活動の方針」について説明いたします。別冊の資料をご覧ください。本市においては、平成30年3月、児童生徒のバランスのとれた生活習慣の確立や、心身の成長に配慮する観点並びに、教職員の多忙化の解消を図り、授業をはじめとする教育の質を高められる環境を構築する観点から、市内の全小中学校における「部活動の休養日」を設定する通知を行ったところですが、本方針は、適正な部活動の運営に向けて、平成30年3月にスポーツ庁が策定した、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」、同年12月に文化庁が策定した、「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」、本年1月に北海道が策定した、「北海道の部活動の在り方に関する方針」に準じて、「網走市立学校に係る部活動の方針」を策定するものです。方針の概要でございますが、北海道の方針に示された内容と同様に、広域性や気候など、当市の特色及び学校の部活動の実態などを踏まえ、運動部活動と文化部活動を区別することなく、一体的な方針としております。方針の内容についてですが、2ページからをご覧ください。

- 1 適切な運営のための体制整備
- 2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進
- 3 適切な休養日等の設定
- 4 生徒のニーズを踏まえた環境の整備
- 5 学校単位で参加する大会等の見直し
- 6 部活動の充実に向けて の6項目で構成しております。

5ページから7ページに記載の、「3 適切な休養日等の設定」で示した「部活動休養日」の日数につきましては、平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする。長期休業期間中における「学校閉庁日」は部活動休養日とする。これを基本とし、大会等の前はやむを得ず活動を行う場合は、代替の休養日を実施することとしております。合計の日数では、平成30年度の通知で73日としていたところが113日になっております。また、「活動時間」についても、1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行うこととしております。本市の地域特性から、積雪のため屋外での活動が制限される部活動や、主に冬季に行われる部活動等についても、休養日及び活動時間は基準を原則としますが、原則どおり運用することが困難と認められる部活動においては、ある程度長期の休養期間を設けることを前提に、特例的な取扱いを認めることとしております。本方針による各学校の取組においては、生徒、保護者や地域の理解を得ることが重要であることから、全校共通の保護者向け文書を教育委員会が作成するとともに、校長会等と連携しながら実効性のある取組を進めていきたいと考えております。また、取組の内容については、今後の国の動向や学校における取組状況などを踏まえながら、必要に応じて適宜見直しを行っていきたいと考えております。なお、各中学校においては、本方針を受け今年度中に各学校の部活動活動方針を策定し、保護者に示し、説明することとなります。以上で説明を終わります。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

三島教育長

ただ今、説明ありました件につきまして、これにつきましては、国からの方針および北海道の方針に準じた形で網走市として、取り組んでいこうというものです。この取り組みについては、全道、管内と統一した取り組みにしなければ運用面で問題があると思いますので、管内においてもその方向で進めております。中学校の校長先生とは、先日の会議でもこの方向で進められるのではと、ご意見いただいております。ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思っております。

富永委員

大会が近くなった場合等、どうしても場合は、認めてもらえますか。

大西学校教育部次長

6,7ページをご覧ください。休養日の下限、活動日の上限の記載があります。そのような場合であっても週16時間の活動時間の上限を設定し対応しているところであります。

三島教育長

冬期間、活動ができない野球部や陸上部等は、冬期間にオフシーズンを設けることを前提に、夏場の活動は、特例的に幅を持たせることはできます。

杉本委員 今後、これを行っていったときに、今まで通りやっている部活が出た場合は、どうなるのでしょうか。罰則等があったりしますか。

大西学校教育部次長 学校は、年度当初に年間計画および毎月の計画を立て、校長に承認の上、活動を行い、実績についても記録してまいりますので、どこかの部活だけ、まもらないといったことのないよう事前に周知し、実施していくことになると思います。

杉本委員 そうされるとは、と思いますが、出てしまった場合を想定し、罰則を作成する等、そういった拘束力は、ないんですよね。

大西学校教育部次長 はい、拘束力まではありませんが、計画よりはみ出した段階で、その分の休養日を取りなさいといった指導になると思います。

三島教育長 網走市の校長については、この辺を理解してくれておりますので、そうならないようきちんと指導してくれると思いますが、罰則はございません。

杉本委員 罰則を作った方がという訳ではないのですが、今までは、部活動に対し、教育委員会に直接意見等は、少なかったと思いますが、こういった変化により、保護者から学校を飛び越えて直接教育委員会に意見等上がってくるような、余計に学校運営のしづらい世の中になってくるような事も懸念しています。

三島教育長 北海道教育委員会に対し、部活動の時間が多すぎるという意見が上がってきている報告があります。土・日曜日も休みなしといった状況からのようです。たしかに、活動時間の削減には、賛成反対の両方の意見があると思います。

杉本委員 もう一点ですが、今まで、かなりやっていた子が、自主的に朝早く行き練習をするとか、休みにやるとかした場合は、どうなるのでしょうか。

大西学校教育部次長 自主的な練習についての記載はないのですが、学校により違う事のないよう各学校長間で連絡し足並みを揃えるよう取り組んでいくことになると思います。

三島教育長 今、杉本委員がおっしゃってるような部分につきましては、確かに記載はなく、厳密なしほりもありません。例えば、休日に、別の指導者によって自由に行う部分については、どうなのか。これは、学校の部活ではない事からよいか。といったような部分もあります。ただ、部活動については、一定の時間の中で効率的に行うといったことは、それぞれの競技団体にも

今後、示していきたいと思います。

- 杉本委員 わかりました。次長が言われたとおり、学校間で連携をとっていただき、違うことのないよう取り組んでいただければと思います。
- 富永委員 近年、部活ではなく、みんな少年団に行ってしまう懸念があります。また、先輩等に自主練と言われれば、断りづらく休めるのかといった懸念もあるかもしれません。
- 三島教育長 部活動に対し、考え方が変わってきております。以前は、とにかく時間が長ければ、記録が伸び、うまくなると言われておりましたが、最近は、効率的な指導方法が良いといった考え方になってきております。富永委員の言われたことも含め、効果的なやり方を各部活で検討していくことになると思います。
- 益村委員 これに取り組むことにより、今までと違った会議が増えるですとか、計画作成に時間を取られるといった先生方の負担増にならないですか。
- 大西学校教育部次長 平成30年度より計画の部分につきましては、すでに行われております。また、教員の働き方改革の部分にも部活動の在り方が記載されておりますので、負担増にならないよう取り組まなければならないと思います。
- 益村委員 わかりました。各学校ごとのバランスに注視しながら、進めていただければと思います。
- 三島教育長 学校ごとの活動方針については、足並みを揃え作成中と聞いておりますので、そこは、状況を見ていきたいと思っております。
- 中山委員 保護者の方への説明の仕方は、どういった形で行う予定ですか。
- 大西学校教育部次長 部活動の休養日の在り方について、今年度（平成30年度）におきましても保護者への説明が必要なことから、3月に学校へ通知し、4月のPTA懇談会において、説明いたしました。今回、部活動の方針といったことで、平成31年度におきましても同じような形で説明を考えており、現在準備を進めております。
- 中山委員 資料2ページの2個目の強制というのはどういう内容でしょうか。指導方法によつての強制なのでしょうか。
- 三島教育長 ここは、北海道もこういった文言になっておりますが、部活動に全員入り

なさいよということだめですよということと、活動の内容、指導については、どこからが強制か明確ではありませんが、指導方法について注意すべき点もあると考えております。

中山委員

はい、わかりました。よろしく申し上げます。

三島教育長

他にございませんか。

それでは、お諮りいたします。議案第3号について、原案のとおり決定することに、ご異議ございませんか。

(「ありません」との発言)

異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

以上で本日の案件につきましては、全て終了いたしました。その他、案件以外で何かございましたら、どうぞご発言をお願いします。

なければ、以上をもちまして本日の教育委員会を閉会させていただきます。お疲れさまでした。

【午後2時30分 閉会】